



# 濁川中だより

〒950-3134

新潟市北区新崎 5437 番地

Tel 025-259-2150

<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

## あなたの「一番好き」を大切に

11月25日(月)の全校朝会は、リレートークでした。今回は、図書館司書の石田弘志先生です。

今日は、私が本を好きになった理由や好きな本、おすすめの本などをお話します。

皆さんは、手塚治虫を知っていますか。漫画の神様と呼ばれている漫画家で、1989年に60歳で亡くなりましたが、生涯に残した原稿の枚数は15万枚、代表作は「鉄腕アトム」「ブラック・ジャック」「火の鳥」などです。私は中学校の図書館で手塚治虫の「ブッダ」を読んでものすごく感動しました。

「ブッダ」は仏教を開いたブッダ、お釈迦様の人生を描いた物語です。特に心に残っているのは、ブッダが悟りを開くきっかけになった場面です。両親を殺され、心を許した母親代わりの女性も疫病で亡くした男が、自分はこの世で一番不幸な人間だ、なぜ世の中には幸せな人間と不幸な人間がいるのかとブッダに尋ねます。ブッダは「お前は自分が一番不幸だというのが、亡くなった両親たちはもっと不幸なのではないか。疫病のために見殺しにするしかなかった国王や王子はもっと苦しんだのではないか、ずっとたどっていくとよい。だれもかれもみんな不幸なのだ。」と話します。男はショックを受けて泣き叫んだ後に再度ブッダに問います。「みんな不幸、ならなんで人間はこの世にあるのだ」ブッダは答えます。「木や草や山や川がそこにあるように、人間もこの自然の中にあるからにはちゃんと意味があって生きている。」

「あらゆるものつながりをもって」「もしお前がいなければ何かが狂うだろう。お前は大事な役目をしているのだ」。この場面は、漫画的演出も素晴らしく、ぜひ読んでもらいたいです。

中学校の図書室で「ブッダ」に出会った私は、それから手塚治虫作品を読み漁りました。「鉄腕アトム」を読んでSFや人種問題に、「ブラック・ジャック」では人体や生物学、「七色インコ」では演劇、「三つ目がとおる」で古代文明やミステリーなど様々なことに興味をもつようになり、漫画だけでは足りない知識は本を読むことで補うようになりました。「アドルフに告ぐ」で第二次世界大戦、「陽だまりの樹」では、幕末について歴史の授業で学ぶ内容より詳しくなりました。こんな素晴らしい作品をたくさんの人に読んでもらいたいと思い、気づいたら図書館司書になっていました。私が本を読むきっかけになり、仕事を始めるきっかけになったのは、手塚治虫であり、漫画でした。

手塚治虫以外にあと2つ、お気に入りの漫画と本を紹介します。

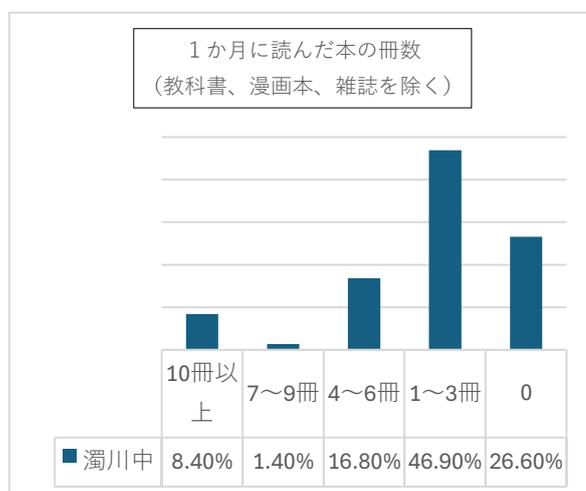
加納朋子さんの「ななつのこ」です。私が好きな文を紹介します。「いったい、いつから疑問に思うことをやめてしまったのでしょうか。いつから、与えられたものに納得し、状況に納得し、色々なことすべてに納得してしまったのでしょうか。」「いつだって、どこだって、謎はすぐ近くにあったのです。」「何もフィックスの深遠な謎などではなくても、例えばどうしてリングは落ちるのか、どうしてカラスは鳴くのか、そんなささやかで、だけど本当は大切な謎はいくらでも日常にあふれていて、そして誰かが答えてくれるのを待っていたのです…。」人間を一番成長させるのは好奇心だと何かで読んだことがあります。私も常に好奇心、疑問を持ち続けながら生きていこうと思わせてくれる作品です。



もう1冊は漫画です。北野詠一さんの「片喰と黄金」です。1849年、大富豪を目指し、飢饉にあえぐアイルランドからゴールドラッシュに沸くカリフォルニアに向かうアメリカとコナーを描いた冒険ものです。旅の途中で出会う教師を志しているキャラクターのセリフがなるほどと思ったので紹介します。「知識は身に付けても一生使わないかもしれないが、身に付けないと使えない。」です。学生の頃にこのセリフに出会っていたら、苦手だった数学や理科も、こんなの勉強しても意味ないんじゃない？と思うことなく、もうちょっと頑張って勉強できたかもなと思いました。

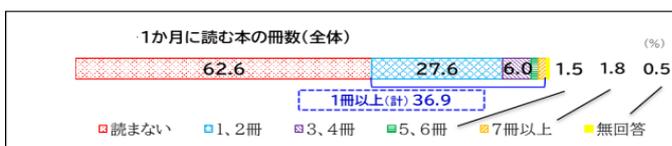
中学生の頃に自分にとって一番好きなものに出会えたのは本当に幸運だったと思います。好きなものは自分に勇気をくれます。人によっては進路や人生の目的になったりするかもしれません。私みたいに。皆さんが一番好きなものは何ですか。どんなものでもいいと思います。それをずっと大事に好きであれば、きっとよりよい人生を送れると思います。まだ見つけれられていない人は、どうぞ、図書館に来てください。図書館にはあらゆるジャンルの本がそろっています。あなたにとって一番好きなものを見つけるお手伝いができると思います。

### 生徒たちの読書事情



11月の読書週間でイベントを行ったところ、他の月に比べてたくさんの方が本を借りに来館しました。また、石田先生による新しい取組で、選書会議を生徒と共に行っています。選書会議とは、自分たちで実際に本を読んで、購入する本を決める会議です。図書委員を中心に生徒が参加して、全校生徒が楽しめる本は何か、話し合っていて決めていました。次回の選書会議は、1月に実施します。

右のグラフは、令和5年度「国語に関する世論調査」の結果です。1か月に本を1冊も読まない大人は、62.6%（平成20年度は46.1%）でした。夜が長い季節です。親子で読書に親しみたいですね。



### 濁川小学校の図書館にお邪魔しました

3年2組の図書館の授業を参観させていただきました。冬休み前の特別貸し出しの日で、熱心に5冊の本を選んでいました。読書ビンゴやお薦めの本を取り入れた貸し出しカード、読み聞かせの場面など、じっくり見せていただきました。小中連携した図書館の取組が何かできないか、司書同士で情報交換を行いました。

### 皆さんの善意が集まりました

環境福祉委員会が、赤い羽根共同募金を呼びかけました。今回は、環境福祉委員が呼びかけのポスターをクラスごとに作成しました。

集まった金額は、2,032円でした。



## 生徒会が誕生しました

11月29日(金)に立会演説会、投票が行われ、新しい生徒会役員が誕生しました。リーダーとしてどんな学校をつくりたいのか、思い描く濁川中について、じっくり考えて演説を行いました。生徒の代表として、より良い濁川中づくりを担っていくことになります。すでに、令和7年度の体育祭について、先生方と話し合いを進め、新しい体育祭づくりを始めています。全校生徒をリードし、支え、積極的に行動してほしいです。



生徒会長	濁中の伝統を引き継ぎ、活気に満ちた学校をつくる
男子副会長	きっかけとなる学校づくり
女子副会長	充実した生活の中で、一人一人が成長できる学校生活を作ります！
書記長	全校生徒が満足できる学校をつくります



## 落ち葉の掃き掃除ボランティア ありがとう1年生

11月26日(火) 環境福祉委員長が全校生徒へ、いちょうの落ち葉掃きを募集しました。すると、たくさんの1年生が集まりました。仲間たちで楽しそうに活動に取り組みました。風が強く駐車場は落ち葉で一杯でしたが、皆さんの力できれいになりました。みんなのために進んで活動する姿はとても素敵でした。



## 濁川ICで、「ポイ捨て禁止」を訴えます

新潟北ライオンズクラブ様より、美術部にポイ捨て禁止啓発看板の依頼をいただきました。長年、ごみ拾い活動に取り組まれており、特にポイ捨ての多いインターチェンジに看板を設置されるとのことでした。この依頼を受け、美術部員はそれぞれの思うデザインを考え、ポスターを制作しました。その中から、3年1組の さんの作品が看板として採用されました。新発田方面行きの濁川インター登り口でぜひご注目ください。



## めざせ！ジャンピング王！！ 心を1つに跳び続けました

12月18日(水) 生徒会主催の「レッツジャンプ」が行われました。学級ごとに大縄を八の字で3分間跳び続けます。今年から、最もたくさん跳んだ学級を「ジャンピング王」として表彰することにしました。学年朝会や昼休みに練習を重ねました。どんどん回数が伸びて、当日に最高記録を達成した学級もありました。ジャンピング王に輝いたのは、**2年1組**。3分間でなんと、**259回**跳びました。



## 圓山先生 ランチ参観

濁川中学校は、この1年、食育に力を入れてきました。

食育ミーティングでは、濁川小の6年生の皆さん、新潟医療福祉大学の学生さんと共に、毎日朝食をとるためにはどうすればいいのかを考えました。夏休みには、「朝食チャレンジ」として、朝食を作ってレポートにまとめました。2年生は調理実習で、朝食に自分でも作ることができる魚と卵を使った調理を行いました。

そして今回は、中学生のランチの様子をご指導いただこうと、濁川小学校の栄養教諭、圓山玲子先生に来校していただきました。12月5日(木)は2年生、12日(木)は3年生のランチの様子を見ていただきました。

「2年生、3年生ともしっかり食べていていいですね」とおっしゃっていました。圓山先生は、濁川小学校の給食メニューを作成されています。「鉄分とカルシウムを給食でどうやって摂取してさせるか、いつも頭を抱えています。」とのことでした。ランチを食べる時、そのご苦勞を思い出しながら、かみしめたいです。

令和7年1月28日(火)、第2回食育ミーティングを開催します。



## 1400兆分の1のキセキ かけがえのない命・赤ちゃんふれあい体験学習

12月10日(火) 北区担当の保健師を講師にお招きし、1年生が思春期保健講座を行いました。命の始まり、胎児の成長、妊婦や新生児に関する話、新生児と同じ重さの人形のお世話など、興味深く学んでいました。

〈生徒の感想〉

- 産んでくれた親はもちろん、支えてくれた周りの人たちにも感謝しながら毎日責任をもって生きていきたいなと思います。
- 赤ちゃんは首が座ってなくて、抱っこするのが大変でした。親はすごいなと思いました。
- みんなたくさんの奇跡が繋がって生まれてきたので、相手が傷ついたりしないように、何をされたら嫌か、自分がどんなことをされたら嫌か、考えていきたいです。

